

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

岩崎中心拠点地区

令和4年1月

熊本県玉名市

1. 数値目標の達成状況の確認(様式4

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価						フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み						理由	改善策の方向性	
指標1	市民会館利用者数	人/年	44,830	50,000	10,041	確定 見込み	△	あり なし	○		12,192	R3.3	△	コロナ禍により予約受付の停止や入場制限の期間があったため。	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	コロナ禍により利用が難しい状況ではあったが、その様な中でも利用者の増加に繋がる取組みを行ったことで、今年度は事後評価時より利用者数が微増し、一定の成果があった。
指標2	利用者(主催者・来場者)の満足度	%	30.5	70.0	85.2	確定 見込み	○	あり なし			85.3	R3.10	○		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	事後評価時に引き続き、85.3%と、高い満足度を維持することができた。今後もより良い施設とすることを目指し、市民の声に耳を傾け、柔軟に対応していく必要がある。
指標3	地区内への来場者数	人/年	292,756.0	320,000	69,646	確定 見込み	△	あり なし	○		88,187	R3.3	△	コロナ禍により地区内で計画されていたイベントが軒並み中止となったため。	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	コロナ禍によりイベントが軒並み中止となったが、感染拡大の落ち着きとともにイベント等も少しずつ再開され、賑わいを取り戻しつつある。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1						確定 見込み							□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標1						確定 見込み							□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標1						確定 見込み							□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4ー③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5ー③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	地区内の更なる賑わい	これまで市役所庁舎で開催していた「ロビーコンサート」を、コンサートに適し且つスペースも広い市民会館ロビーに変更することで、より多くの集客を図った。また、市民会館の利用促進を図るための方策の一つとして、ホールで開催される文化イベントに対し、練習・リハーサル時の使用料を半額還付する制度を設けた。	コロナ禍が続き、地区内で予定されていたイベントが軒並み中止になるなど、賑わいを創出できる状況ではなかった。その様な中、市民会館ロビーを活用したコンサートを感染状況を見ながら実施したが、回を追うごとに観客が微増し、一定の成果はあった。また、ホール使用料補助制度による利用も2件あり、以前の様にイベントが多く開催される状況になれば、この分も増加すると考える。市民会館の自主事業として実施した市内高校の文化イベントについては、ホール利用者の増加に繋がった。	市民会館ホールは、コロナ禍においてオープンしたこともあって、市民に利用イメージが定着していない面があるため、施設の利用案内やイベント情報をSNS等活用し、積極的に発信していく必要がある。また、「ロビーコンサート」のような誰でも気軽に参加できるイベントをより多く計画し、市民の集いの場として親しまれるよう工夫する。
	市民会館ホールの拠点性の向上	市民会館ホールのパンフレットやプロモーションビデオを作成し、ビデオは市民会館のホームページ上で紹介している。また、ホール施設や周辺の状況等詳細な情報を分かり易く同ホームページで説明し、利用促進を図った。	コロナ禍により予約受付や入場を制限したり、イベントが中止となる状況であったため、実施した効果を確認することは出来ない。	
	駐車場の利用方法	地区内駐車場の一体的管理をしている指定管理者より月ごとに各施設の利用予定表を提出してもらい、調整が必要なイベント等開催予定の場合、その都度連絡調整を行った。	コロナ禍が続き、予定されていた市のイベントは軒並み中止となったため、連絡調整会議は開催しなかったが、市民会館ホールの一般の利用については、指定管理者と連絡調整を取り合い、共同利用がスムーズに行われた。	アフターコロナでこれまでより多くのイベントが活況に行われることを見越し、地区内施設の一体的管理を委託する指定管者とも、より一層の情報共有・連絡調整を行っていく必要がある。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	来場者の安全性の確保	区域内全域の電線地中化による景観の整備を図ろうと考えたが、この事業を実施するには市全体の無電柱化推進計画の策定が必要であり、今後検討して行く。		
	駐車場の共用利用による管理	地区内駐車場の一体的管理をしている指定管理者より月ごとに各施設の利用予定表を提出してもらい、調整が必要なイベント等開催予定の場合、その都度連絡調整を行った。	コロナ禍が続き、予定されていた市のイベントは軒並み中止となったため、連絡調整会議は開催しなかったが、市民会館ホールの一般の利用については、指定管理者と連絡調整を取り合い、共同利用がスムーズに行われた。	アフターコロナでこれまでより多くのイベントが活況に行われることを見越し、地区内施設の一体的管理を委託する指定管者ともより一層の情報共有・連絡調整を行っていく。

事後評価シート 添付様式5ー③から転記

様式4ー④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項